

環境変化を踏まえた運賃・料金の検討について

現状の運賃・料金に関する整理

種類	内容	事例
基本運賃	通常（流しや営業所受け）の利用時に適用される運賃	<ul style="list-style-type: none"> ・ 距離制運賃 ・ 時間制運賃
割引き運賃	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会的要請に基づき設定するもの（公共的割引） ・ 主に需要喚起を目的として設定するもの（営業的割引） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者割引き ・ 遠距離割引き ・ クーポン割引き 等
割増し運賃	特別な期間や時間帯等に運送する場合など、通常の運送時と比べ、著しく高い運送経費を要する場合に設定するもの。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 深夜早朝割増し 等
定額運賃	一定のエリアから大規模集客施設との間の運送において、事前に定額を定めて運送の引受けを行うもの。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空港に係る定額運賃 ・ 観光ルート別運賃 等
料金	一般的な利用とは別に、特別な運送サービスを提供する場合に設定するもの。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 迎車回送料金 ・ 時間指定配車料金 ・ 車種指定配車料金 ・ その他サービスに対する料金

提案のあった新たな運賃・料金の内容

前回の運賃制度WGの中でご提案頂いた「多様な運賃・料金」に関する項目を中心に、その導入に係る効果や課題等を抽出し、今後の施策の検討材料とする。

提案のあった 新たな運賃・料金	種 類	内 容
繁忙期割増運賃	割増し運賃	・繁忙期において、運賃を上げられないか。
事前確定運賃	定額運賃	乗車する前に運賃額を事前確定できないか。
定期券（乗り放題） タクシー	定額運賃	タクシーにおける定期券を発行し、乗り放題となるサービスを提供できないか。
優先配車料金	料 金	優先的に配車される料金を設定できないか。

提案項目の効果及び課題

提案項目	繁忙期割増運賃
提案の背景	旅行商品として、既に同種の仕組みは導入されており、タクシー事業者も同様に導入できないか。
具体的な手法	天候や時間帯等に応じて、割増運賃を設定する。
効果	<ul style="list-style-type: none">・タクシー事業者は、繁忙期において収益増加が見込める。・タクシー事業者の収益増により、収支状況が改善され、運賃改定を行う必要性がなくなる。
課題	天候や時間帯等に応じた割増し運賃について、利用者に対して事前に設定の有無が示されていない場合においては、地域公共交通機関として相応しくない。

提案項目の効果及び課題

提案項目	事前確定運賃
提案の背景	道路網はほぼ整備されており、交通情報手段も発達している中で、運賃を事前確定できないか。
具体的な手法	過去の運行データを活用し、時間帯や乗降地から距離・時間等を予測し、運賃額を事前に算出する。
効果	<ul style="list-style-type: none">・ 利用者は、事前に運賃が確定しているため、安心して乗車できる。・ 運転者は、運賃を巡る乗客とのトラブルが少なくなる。・ 事前決済が可能となる。
課題	<ul style="list-style-type: none">・ 乗車距離・時間を予測するシステムを開発するまで、コストや時間を要する。・ 利用者が正確な降車場所を指定することが難しい場合が多い。・ 運送の途中でルートを変更した場合の運賃の取扱い。・ 突発的な事故等により、事前の予測と相違する場合の運賃の取扱い。

提案項目の効果及び課題

提案項目	定期券（乗り放題）タクシー
提案の背景	対象者と区間を限定した、同種の旅行商品が販売されており、タクシー事業者も同様に導入できないか。
具体的な手法	利用区間や利用時間帯等を限定して、乗車回数等を推測しつつ、定額運賃として設定する。
効果	<ul style="list-style-type: none">・利用者は気軽に利用できる。・新規顧客の獲得が見込める。・昼間などの閑散時間帯に限定することにより、車両の効率化が図られる。
課題	利用区間等を限定することは、地域公共交通機関の運賃として相応しくない。

事例紹介：ジェロンタクシー（JTB）

- ・福岡市において、平成28年2月より、JTBがタクシー会社と連携し、社会実験として「ジェロンタクシー1ヶ月定期券」を販売。
 - ・利用区間は福岡市の一部エリアで実施し、利用者は70歳以上の高齢者に限定。
 - ・購入者は、タクシーを利用し、自宅～いつもの買物店～かかりつけの病院の3地点間を定額で乗り放題可能となる。
- 高齢者の方々が、運賃を気にせずに「高齢者の日常の足」として安心してタクシーの利用が可能。

提案項目の効果及び課題

提案項目	優先配車料金
提案の背景	<ul style="list-style-type: none">・混雑時において、配車されるまでに時間がかかるケースや利用できないケースがある。
具体的な手法	<ul style="list-style-type: none">・優先配車を希望する利用者に対して、特別な料金を設定する。
効果	<ul style="list-style-type: none">・利用者は、繁忙時等において、優先的に配車される。・タクシー事業者は、優先配車による収益増が見込める。
課題	<ul style="list-style-type: none">・優先配車が増加した場合、一般の利用者がタクシーを利用できない恐れがある。・優先配車は法律に違反する。

○道路運送法(昭和26年法律第183号)

(運送の順序)

第14条 一般旅客自動車運送事業者は、運送の申込みを受けた順序により、旅客の運送をしなければならない。
ただし、急病人を運送する場合その他正当な事由がある場合は、この限りでない。